

予 算 要 求 資 料

令和4年度12月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費

事業名 清流長良川あゆパーク管理運営費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 里川振興課 漁業振興係 電話番号：058-272-1111(内2912)

E-mail：c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 878 千円 (現計予算額： 16,536 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	16,536	0	0	644	363	0	0	0	15,529
補 正 要求額	878	0	0	0	0	0	0	0	878
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

昨今の世界情勢の急激な変化によって、年度当初予算の時点では予想することのできな
い電気料金単価の上昇が続いている。一方で、電力は施設の営業・管理をする上で必要不
可欠であるため、これ以上の電気使用量の削減は困難である。

その結果、支出見込みが収入見込みを大きく上回り、指定管理者は補正予算による対応
を余儀なくされている。指定管理者の財政状況悪化によって、このままでは指定管理業務
の円滑な遂行に重大な影響が及ぶことから、電気料金増額分の一部を県が負担する。

(2) 事業内容

ア 指定管理者指定期間

平成30年6月2日～令和5年3月31日

イ 指定管理業務の内容

- (ア) 施設管理業務
施設・設備の保守点検及び修繕、緑地帯管理及び清掃等
- (イ) 漁業体験業務
漁業に関する体験学習事業の企画及び実施
- (ウ) 資料展示業務
漁業及び世界農業遺産「清流長良川の鮎」に関する資料の展示
- (エ) 利用者サービス業務
イベント等案内、見学及び視察等の対応及び機械警備業務等
- (オ) 利用促進業務
ホームページの作成・運用並びに施設案内パンフレットの作成及び配布
- (カ) その他
利用者への遵守事項徹底、利用者等の意見把握及び利用状況等の集計等

(3) 県負担・補助率の考え方

当該施設の本年度の電気料金のうち、急激な電気料金高騰の影響で増加したと認められる額の2分の1の範囲内

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	878	指定管理料
合計	878	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画（令和3～令和7年度）
第5章 1（3）⑥鮎を守り育てる体制の構築

(2) 国・他県の状況

なし

(3) 後年度の財政負担

緊急対策のため単年度とし、後年度の財政負担はない。

(4) 事業主体及びその妥当性

「清流長良川あゆパークの管理に関する基本協定書」第36条において、「年度協定の締結時において予想することのできない経済情勢その他の情勢の変化による著しい物価の変動」は県が負担すると定められていることから、県の対応が必要である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

漁業に関する体験学習事業を、指定管理者の指定期間（平成30～令和4年度）中の各年度（平成30年度を含む。）につき35回以上かつ延べ1,800人以上を対象に実施できるよう、県としての取組を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
①漁業体験学習事業実施回数	—	80回	35回	35回	35回	228%
②漁業体験学習事業参加者数	—	3,135人	1,800人	1,800人	1,800人	174%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	令和2年度指定管理業務（R2.4.1～R3.3.31） ※令和4年度までの期間で基本協定締結 （内容）パークの管理に関すること 漁業に関する体験学習事業を企画し、実施すること 漁業及び世界農業遺産「清流長良川の鮎」に関する資料展示等 （成果）来場者数 106,159人 体験利用者数 21,635人 ※自主事業（一般来場者）含む
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない 	
(評価) 2	<p>アユ漁獲量並びに遊漁者数及び河川漁業協同組合員数の河川漁業に関する指標が悪化している中、多くの小中高生に川や魚に触れ合う機会や釣り教室等の場を提供し、遊漁者数及び漁協組合員数の増加を図ることが緊急の課題である。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3: 期待以上の成果あり 2: 期待どおりの成果あり 1: 期待どおりの成果が得られていない 0: ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	<p>あゆパークで漁業体験をすることで、魚釣りに関心をもってもらうことができた。 [アンケート結果] 魚釣りをしたことがある・・・38% 漁業体験を通じて釣りをしてみたいくなった・・・94%</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 継続的な来場者及び体験利用者数の確保及び満足度の向上

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 来場者や体験活動利用者に対しアンケートを実施することで、パーク利用者ニーズを把握し、実施内容や規模等について見直しを行う。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】